

「おくのほそ道」連句会()班

3年()組()番 名前()

<詠み方のコツ・ポイント>

- ①作者名は俳号（ペンネーム）にしても、実名でもよい。ペアの場合は連名にする。
- ②連句の長さは発句から六句目までとする。(575→77→575→77→575→77)
- ③発句は「おくのほそ道」に出てくる芭蕉の一句とする。
(詠まれた季節、状況、エピソードについては、俳句すごろくのコマを参考にする。)
- ④脇句は、芭蕉の気持ちを思い浮かべて、それに応えて詠む。
(短歌の下の句(77)を付けるように、芭蕉の発句と同じ季節、同じ時間帯の内容にする。)
- ⑤第三句からは変化を意識して付ける。季節や場面を変えて発想を自由に広げていく。
- ⑥定型(575/77)をできるだけ守る。(字余りは可。字足らずは不可)
- ⑦【恋】の句を3句目以降に必ず入れる。
- ⑧なるべく四季を入れよう。
- ⑨同じ題材や言葉は一卷に一つ。生活・社会のいろんな場面を描こう！
- ⑩協力と強調で、楽しく良い作品を作ろう！

<進行方法>

- ①付け順を決めて、一人またはペアで順に詠む。→みんなで推敲して完成する。
- ②推敲した作品をタブレットで撮影し、提出をする。

No.	名称	句			作者名
1	発句 (575)				芭蕉
2	脇句 (77)				
3	第三句 (575)				
4	第四句 (77)				
5	第五句 (575)				
6	挙句 (77)				